

出雲市立湖陵幼稚園 実践発表会指導案 <3歳児>

1.最近の子どもの姿

- 園生活に慣れ、安定した気持ちで自分を出しながら遊ぶ姿が見られるようになってきた。
- ・自分から進んで園庭に出て、シャボン玉遊びや砂場での山作り、ごちそう作りなど自分の好きな遊びを見つけて楽しんでいる。
- ・その日の体調や気分によって、スムーズに遊びに入れない子どももいる。
- 遊びの場を共にする中で、友達と名前を呼び合ったり言葉を交わしたりなどして、かかわりをもつ姿が見られるようになってきた。
- ・友達と一緒にいることを喜び、手をつないで歩いたり、言葉や動作を真似たりして楽しんでいる。
- ・思いの相違から物の取り合いになったり、強い口調で相手を責めたりする姿が見られることもある。
- 生き物に興味をもち、飼ったりお世話をしたりする中で親しみをもち、生き物になって遊ぶ姿が見られるようになった。
- ・教師の用意したモールドで作った触角を頭に付けて生き物になることが嬉しくてたまらず、友達と見せ合って喜んだり、生き物になりきって動作を真似たりしている。
- ・生き物になって遊ぶ場を、「ザリガニさんもメダカさんもみんな友達だよ」という思いから『なかよし遊園地』と名付け、皆で仲良く遊ぼうとしている。
- ・なかなか遊びに入り込めず、周囲の様子を傍観したり、不安を感じたりしてしまう子どももいる。

2.活動のねらい

- 気持ちを開放させながら、のびのびと体を動かして遊ぶ。 【5つの心の①】
- 教師や友達と思いを伝え合いながら、一緒に遊ぶ楽しさを味わう。 【5つの心の②】
- 生き物に心を寄せ、興味をもって見たり、やさしく世話をしたりする。 【5つの心の③】
- 生き物になりきって自分なりの表現を楽しんだり、教師や友達と一緒に『なかよし遊園地』に必要なものを身近な素材(紙、箱、すずらんテープ、セロテープ等)や巧技台など使って作ったりする。 【5つの心の④】
- 遊んだ後は、教師や友達と一緒に使ったものを元の場所に返したり、最後まで片付けたりする。 【5つの心の①】

3.教師の願い

- おもしろそうな場を見付け、繰り返し体を動かしながら、気持ちを開放させて遊んでほしい。
- 教師や友達と心を通わせ、同じイメージをもちながら、生き物になりきったり、言葉のやりとりをしたり、動作を真似たりすることを楽しんでほしい。

4.環境の構成と援助

- それぞれに自分の好きな生き物(ザリガニやメダカ、オタマジャクシ、バッタなど)になりきって遊べるように、子ども達の思いを受け入れながら、必要な物を準備したり、場に変化をつけたりしながら一緒に遊びの場を作っていく。
- 一人一人の子どもの表現を認め、「～～がおもしろいね」「～～が素敵だね」と具体的に褒めることで、より自分らしい表現を楽しめるようにする。
- これまでに生き物の様子をよく見てきたからこそできる子ども達の動きやつぶやきを捉え、「メダカさんはお口をパクパクさせているね」「オタマジャクシさんに足が生えてきたんだね」など気付きや感動を受け止めながら返していくことで、子ども達の遊びを価値付けていく。
- 言葉をやりとりしたり動きを真似たりしながら、友達と一緒に遊ぶ楽しさを感じられるよう、教師も遊びの仲間になって、楽しさを共感していく。
- 思いの相違から言い合いや物の取り合いになった時には、まずは教師が互いの思いをしっかりと聞いて受け止め、それから相手に自分の思いを言葉で伝えたり、相手の気持ちや状況などを理解したりできるように仲立ちしていく。人の嫌がること、危険なことに対しては、してはいけないことだということを、その場を捉えながら繰り返し伝えていく。
- 補助教諭とは遊び場ごとの様子や子どもの思いなどを知らせ合い、援助のあり方について共通理解を図りながら保育を進めていく。

<p>本時のねらい</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教師や友達に親しみを持ち、かかわりながら遊ぶ。 ○ 自分の好きな生き物になりきって、『なかよし遊園地』での遊びを楽しむ。
<p>時間</p>	<p>予想される幼児の活動 <input type="checkbox"/> 環境の構成と援助 ()</p>
<p>9:20</p> <p>9:30</p> <p>10:10</p> <p>10:20</p>	<div data-bbox="302 311 974 414"> <p>○ ともだちタイム(全園児活動)に参加しよう ・おはようランニング・挨拶・体操・お話タイム</p> </div> <div data-bbox="302 454 974 534"> <p>～みんな大好き! なかよし遊園地は楽しいよ～</p> </div> <div data-bbox="302 598 985 805"> <p>体を動かして遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・バッタやチョウになってジャンプしたり、一本橋を渡ったり、お山に登ったりする。 ・ザリガニやメダカ、オタマジャクシになってお池プールに入り、水を飲んだり泳いだりする。 </div> <div data-bbox="302 821 996 1284"> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの思いや要求に合わせて遊具や用具を準備したり、変化をつけたりしながら場を再構築し、一人一人がのびのびと遊べるようにする。 ・「すごいジャンプだね」「強そうなはさみだね」など子どもの姿を具体的に褒め、認めることで、より自分らしい表現を楽しみながら遊べるようにする。 ・言い合いや物や場の取り合いなどになった時には、教師が互いの思いを十分に受け止め、相手に言葉で思いを伝えたり、相手の思いに気付いたりできるよう援助する。 ・遊具で遊ぶ際には、遊び方や順番などに気付けさせながら、危険がないよう留意する。 </div> <div data-bbox="302 1348 1097 1484"> <p>みんなで集まろう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・楽しかったことをみんなの前で話したり、友達の話を聞いたりする。 ・遊んだ場の片付けをする。 </div> <div data-bbox="996 295 1960 406"> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の様子を見守り、必要に応じて誘いかけたり、促したりしていく。 ・教師も一緒に活動に参加することで、安心感をもてるようにしていく。 </div> <div data-bbox="996 406 2139 574"> <ul style="list-style-type: none"> ・教師も生き物になって子どもと共に遊んだり、時にはアイデアを出したりして、遊びを盛り上げていく。 ・なかなか遊び始められずにいる子どもに対しては、その子どもの気持ちやペースを認めて見守りながら、遊びに誘いかけていくようにする。 ・補助教諭と連携を図り、常に子ども達の様子を把握できるようにしておく。 </div> <div data-bbox="1422 582 2116 710"> <p>見て見て! 草むらステージ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ステージに立ち、音楽に合わせて歌ったり、踊ったりする。 ・お客さんになって、友達の歌や踊りを見る。 </div> <div data-bbox="1422 710 2139 997"> <ul style="list-style-type: none"> ・カセットデッキとテープ(子ども達に親しみのある曲)を用意し、いつでも友達と誘い合って歌や踊りを楽しんだり、友達の様子を見たりできるステージを設定する。 ・個々に曲に合わせて踊ったり体を動かしたりして身体表現をしている姿を認めつつ、友達の姿にも気付けさせ、興味をもったり、かかわりが生まれたりするようにしていく。 ・カセットデッキの操作は教師がするようにする。 </div> <div data-bbox="1086 1021 2105 1149"> <p>おうちで遊ぼう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・好きな生き物になって、おうちの周りにかくれんぼなどをして遊ぶ。 ・おうちの中でごちそうを作ったり、友達と言葉のやりとりを楽しんだりする。 </div> <div data-bbox="1086 1149 2139 1292"> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども同士のやりとりを大切に見守り、「友達と一緒に楽しいね」「嬉しいね」などと声をかけ、楽しさや嬉しさに共感する。 ・お気に入りのおうちで友達と触れ合っのびのびと遊べるように、場を広く設定しておく。 </div> <div data-bbox="1086 1300 2139 1484"> <ul style="list-style-type: none"> ・生き物の生態をよく見て、生き物になりきって表現していた姿を取り上げることで、子ども達の生き物に対する関心を高めたり、観察力の目を養ったりする。 ・使った物を元の場所に片付けたり、作った物を大事にとっておいたりして、明日も遊びたいという気持ちをもてるようにする。 </div>